

Fra Clean Pro30インセット

取扱説明書

このたびは、室内物干し「フレクリーンPro30 インセット」をお買い上げいただきまことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。なお、お読みになったあとは大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

安全上の注意

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は以下のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

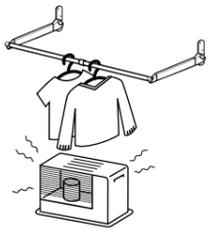
- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が表示されています。

警告

●室内物干しの下にストーブなどの暖房器具を置いて物を干すことは絶対にしないでください。



火災の原因となります。

注意

●竿にぶらさがったり、いたずら操作をしないでください。



落下によるケガや故障の原因となります。

●使用しないときは必ず収納してください。



ぶつかってケガをする恐れがあります。

●本製品は室内物干し専用ですので、屋外での使用はできません。また、他の用途でもご利用にならないでください。

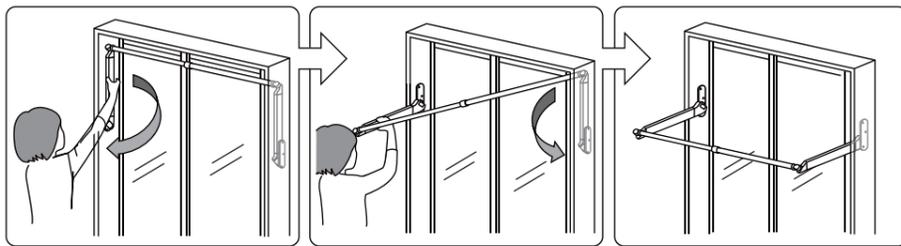
使用方法

■竿の出し入れの仕方

●アームを持ってカーテンを逃げるように手前に降ろします。この操作を片側ずつ行います。収納するときは、出した時と逆の操作を行います。

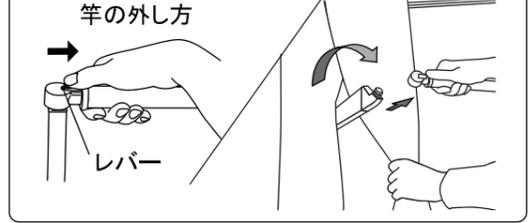


アームと台座の間にカーテンをはさまないように注意してください。カーテンをいためる原因となります。



■カーテンの入れ方

●カーテンを竿の内側に入れるときは、ボタンを押して竿を外してください。



■洗濯物の干し方

- 洗濯物は12kgを超えて干さないでください。故障の原因となります。
- 洗濯物はよく脱水して、竿に干してください。肩幅の広い服などを干すと、カーテンに当たる場合がありますので、注意してください。
- 竿に強い振動を加えないでください。故障の原因となります。
- 竿に均等に干してください。故障の原因となります。



■お手入れ方法

●本体や竿が汚れた場合は、台所用中性洗剤を薄めた液につけた布でふいてください。その後水拭きして、最後に乾いた布で水分を拭きとってください。ベンジン・シンナー・酸性洗剤などは、変形・変色の原因となります。

品質表示
 使用材料/アーム：アルミニウム合金
 ポリアセタール
 台座：アルミニウム合金
 竿：ポリプロピレン被膜鋼管
 干せる洗濯物の量：12kg
オークス株式会社
 〒955-0842 新潟県三条市島田2丁目8番3号
 50838/2 (中国製)

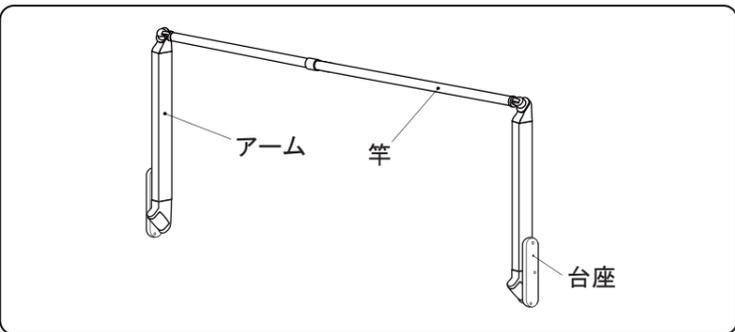
■お問い合わせ

フリーダイヤル 0120-35-1217
 土曜、日曜、祭日を除く
 AM9:00～PM5:00
<http://www.aux-ltd.co.jp>

施工説明書

■施工される方へのお願い・・・この物干しを正しくご使用いただくために、施工説明書をよくお読みになり、正しく施工してください。施工終了後に取扱説明書に従い、操作確認を行ってください。

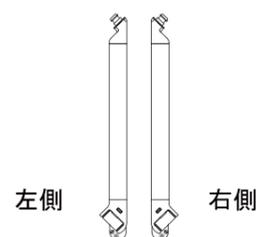
各部名称



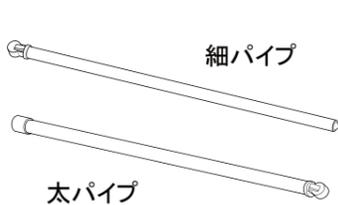
部品明細

下図に描かれた部品が揃っているかご確認ください。

■アーム…1組



■竿部…1組



■タッピンねじ…6本

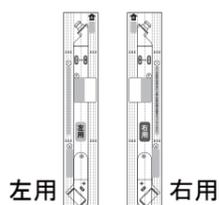


皿 4.8×35

■スペーサー…1本 (発泡スチロール)



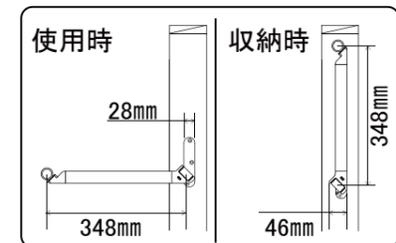
■位置決め用型紙…1組



取付場所の確認

■施工条件

- 適応する窓枠(額縁)の内法幅は下表で確認してください。
- アームは窓枠(額縁)の見込み部分(30mm以上)で、十分強度がある場所に取付けてください。クロス巻込みで窓枠(額縁)のない場合は、クロスの下に12mm以上の木の下地が必要となります。
- 取付け時の注意事項
 (注1) サッシの中央部の縦枠が大きく、アングル(サッシ枠)より前に出ているものは、竿に接触する恐れがあります。
 (注2) 右側のサッシを左に寄せたときに、左側のアームがサッシと接触する恐れがあります。
 (注3) 窓枠(額縁)の手前に取付ける場合は、タッピンねじがちり部分からとび出さないよう注意してください。 ※必要に応じて適切な長さのねじを別途ご用意ください。
 (注4) MDFの窓枠にも設置はできますが、木端(切断面)にはねじが効かないため30mm以上であっても取り付けできません。
 (注5) アームの出し入れ操作位置は窓枠高さの約300mm下です。あらかじめ操作位置をご確認ください。



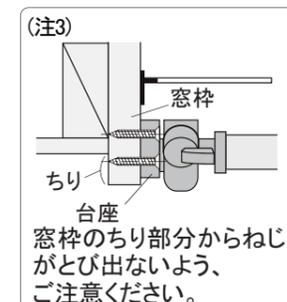
品番	窓枠内法幅
FS 150N	1,240 ~ 1,500 mm
FS 186N	1,500 ~ 1,860 mm
FS 217N	1,860 ~ 2,170 mm

窓枠内法幅 (表参照)

(注4) 木端(切断面)への取り付けは幅が30mm以上であってもできません。



注意 石膏ボード、化粧板等で下地に木芯が無く、取付けねじの効かない所には取り付けできません。

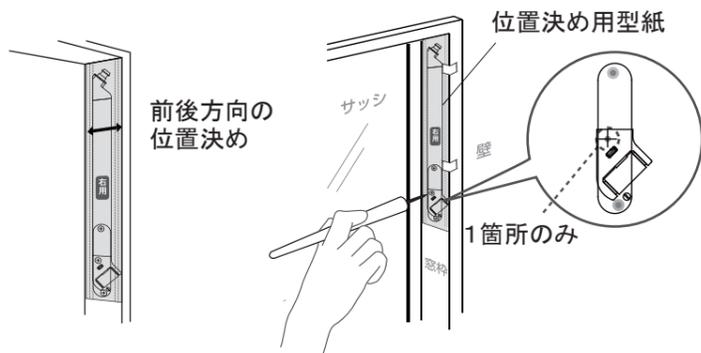


取付方法

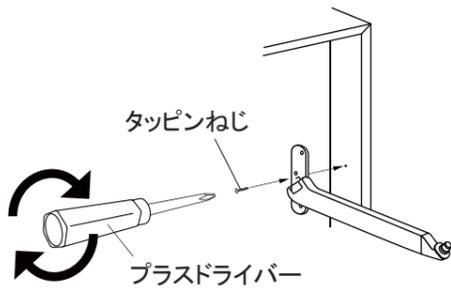
1 位置決め用型紙を窓枠（額縁）にあて、前後方向の位置を確認し、任意の位置で点線を切り取ります。
（右の窓枠（額縁）には右用の型紙、左の窓枠（額縁）には左用の型紙をご使用ください。）

2 型紙の上端を窓枠の上角部に合わせ、テープなどで仮止めします。

3 図の1箇所をキリなどを使って印をつけ、型紙を外します。次に木の硬さに応じてφ2.5～φ3.0のドリルで下穴を開けます。
注）下穴を開けない場合、木が割れる可能性があります。

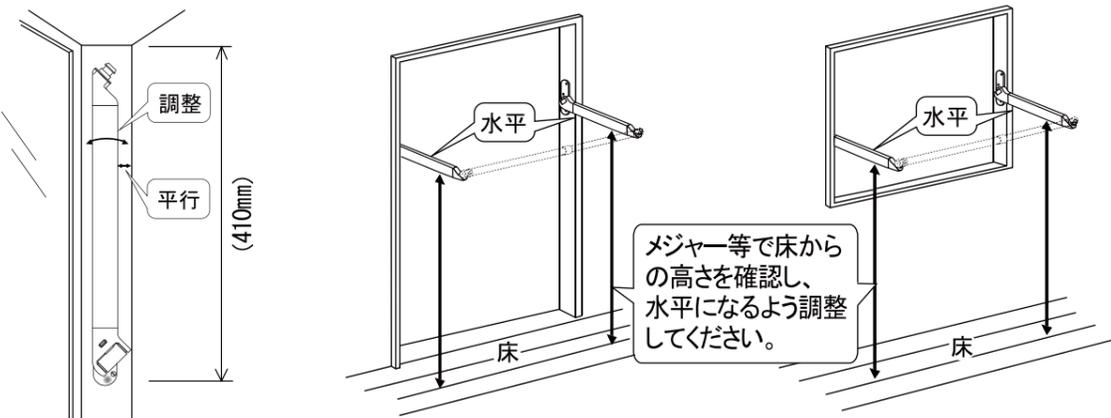


4 下穴に台座の穴を合わせ、プラスドライバーを使ってねじを最後までしっかり止めます。

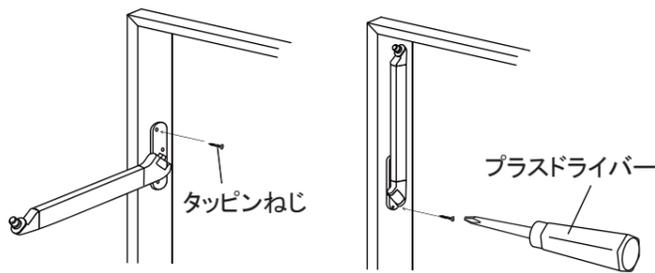


5 反対側の窓枠（額縁）も**1**～**4**の作業を同様に行います。

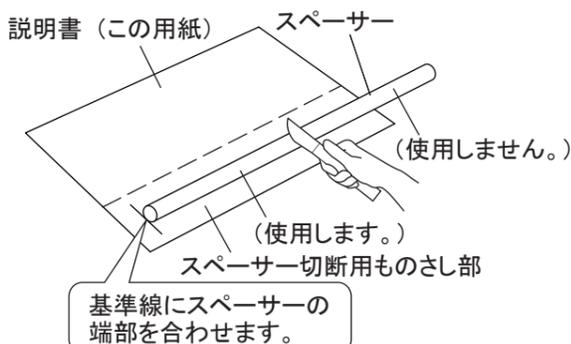
6 次にアームの位置を調整します。まず、アームが窓枠（額縁）と平行になるよう調整し、さらにアームを手前に出したとき左右のアームの先端が同じ高さになるよう、微調整します。



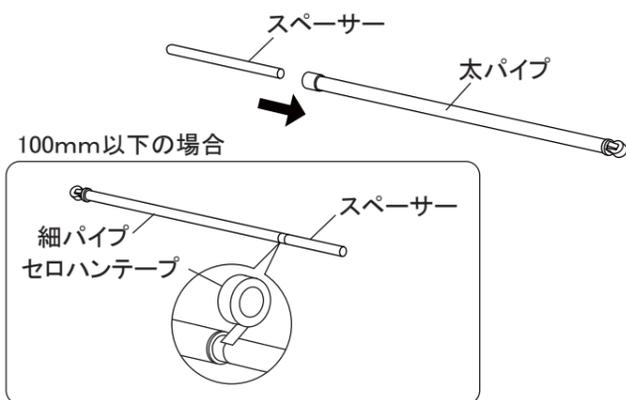
7 残りのタッピンねじを窓枠（額縁）にドリルで下穴を開けてから、プラスドライバーを使ってねじを最後までしっかり止めます。



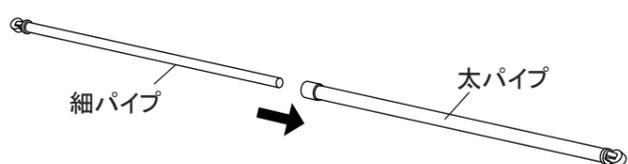
8 窓枠（額縁）の内法幅を測ります。スペーサー（発泡スチロール）を説明書の基準線に合わせ、カッター等で切ります。



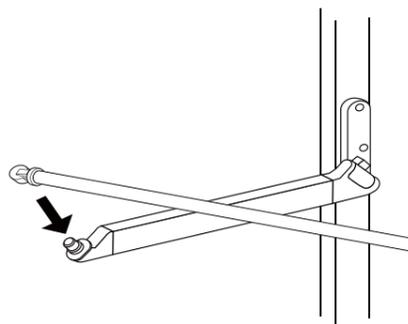
9 太パイプに切断したスペーサー（左側）を差込みます。なお、切断したスペーサーが100mm以下の場合には、細パイプの先端にセロハンテープで止めてください。



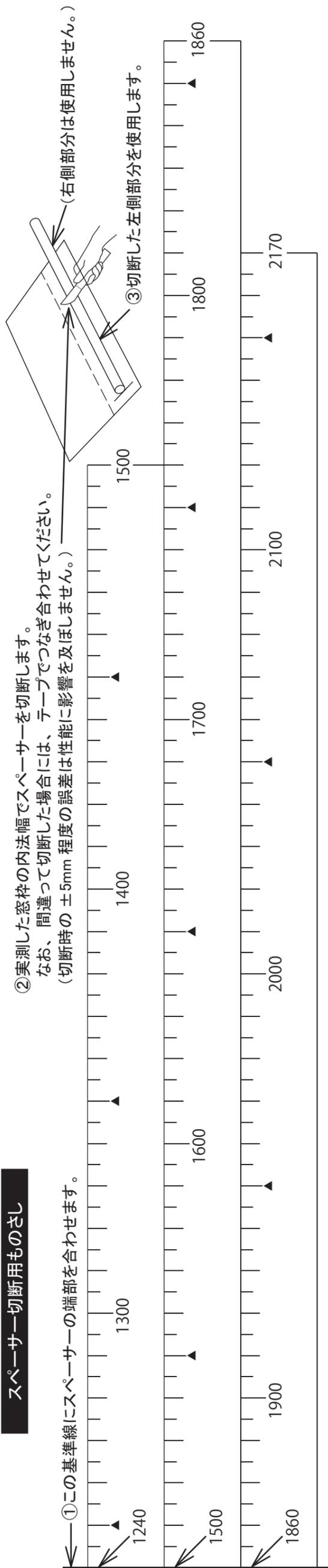
10 次に、細パイプと太パイプを組み合わせます。



11 アームの先端に竿端部のキャッチをはめます。（ロックがかかり、外れないことを確認してください。）反対側も同様に取り付けます。



12 最後に取扱説明書に従って操作確認を行ってください。なお、異常のある場合は、ご使用にならないでください。



FS150N 用

FS186N 用

FS217N 用